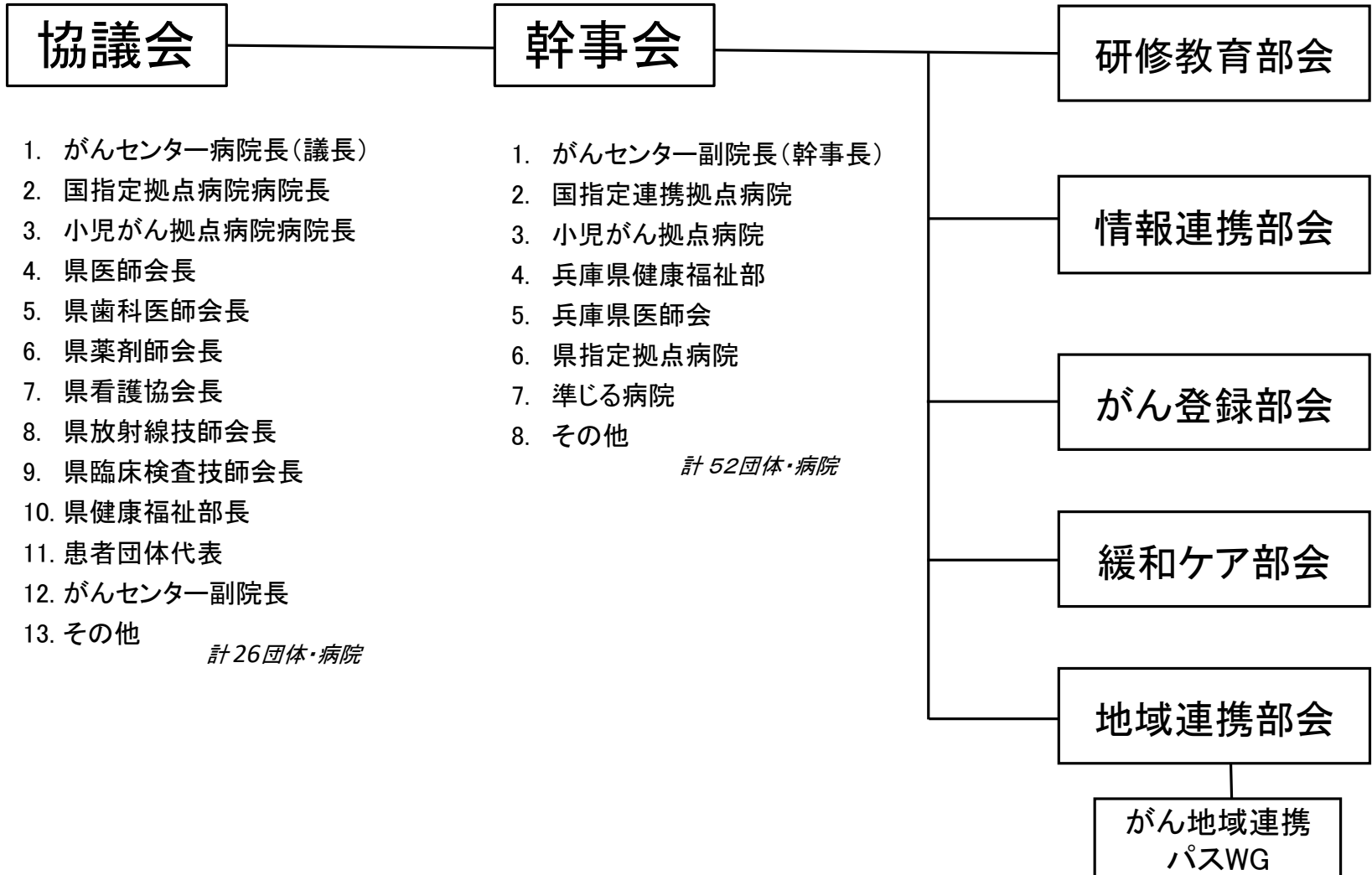


# 兵庫県がん診療連携協議会の組織体制



### 3 協議会・幹事会並びに各部会の2019年度活動報告 及び2020年度活動計画について

#### 兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2019年4月11日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第14回) 開催</li> <li>○ 2019年6月6日(木) 第1回幹事会 開催</li> <li>○ 2020年2月20日(木) 第2回幹事会開催</li> <li>○ 2019年11月16日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 <span style="float: right;">208名参加</span> 第9回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「動き出した がんゲノム医療」 担 当: 県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター</li> </ul>
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2020年4月9日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第15回) ※COVID-19の影響により中止</li> <li>○ 2020年6月4日(木) 第1回幹事会 開催</li> <li>○ (日程未定) 第2回幹事会 開催</li> <li>○ 2020年10月24日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第10回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「未定」 担 当: 関西労災病院</li> </ul>

## 兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん看護実務研修の開催（兵庫県立がんセンター） 2019年6月3日～8月30日のうち28日間、及びフォローアップ研修 2020年2月21日（金） 30施設 実参加人数 184名</li> <li>○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第5回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 2019年10月22日（火・祝） 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室 テーマ：「AYAがん～若年成人がん患者・家族をチームで支える～」 7チーム 65名参加</li> <li>○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修・教育部会セミナー 2019年10月26日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ：「がんゲノム医療の実際」 125名参加</li> <li>・検査セミナー 2019年12月21日（土） 兵庫県私学会館 4階 大ホール テーマ：「遺伝子で分類するがん」 117名参加</li> <li>・薬剤師セミナー 2020年1月18日（土） 兵庫県私学会館 4階 大ホール テーマ：「がんゲノム医療」 156名参加</li> <li>・放射線セミナー 2019年10月12日（土）、及び2020年2月29日（土）いずれも開催中止 テーマ：「食道がんの診断と治療 -update-」</li> </ul> </li> <li>○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回ひょうご県民がんフォーラム 2019年11月16日（土） テーマ：「動き出した がんゲノム医療」 兵庫県民会館 9階 けんみんホール 担当施設：◎ 県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター (地域別で持ち回りにて開催する) 208名参加</li> </ul> </li> </ul>
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん看護コアナース育成セミナー(旧がん看護実務研修)の開催（兵庫県立がんセンター） 2020年7月8日～8月21日のうち15日間、及びフォローアップ研修 2021年2月26日（金）</li> <li>○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第6回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日程未定 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室 テーマ：「未定」</li> <li>○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線セミナー 2020年10月31日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ：「食道がんの診断と治療 -update-」</li> <li>・研修・教育部会セミナー 2020年10月10日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ：「がん医療におけるAI」</li> <li>・検査セミナー 2020年12月 5日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ：「未定」</li> <li>・薬剤師セミナー 2020年12月19日（土） 兵庫県民会館 9階けんみんホール テーマ：「未定」</li> </ul> </li> <li>○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回ひょうご県民がんフォーラム 2020年10月24日（土） テーマ：「未定」 兵庫県民会館 9階 けんみんホール 担当施設：◎ 関西労災病院</li> </ul> </li> </ul>

《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年 3月 31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ知識を自部署、自施設での看護に活かせるように研修内容を検討し、ELNECを取り入れる。</li> <li>・研修参加の対象者をがん看護の実践力向上をはかりたい方と明確にし、がんに関する知識の向上だけでなく実践に繋がるようにする。</li> </ul> <p>★ 実施時期:2019年6月3日～8月30日 フォローアップ研修として2020年2月21日</p>	2020年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内医療機関12施設14名の研修参加があり、14名修了した。講義ごとの聴講は、全29講義で延べ498名の参加があり活気ある研修会となった。</li> <li>・ELNEC-JIには33名の参加者があり、実務研修の内容に組み込むことで効果的な学習を行うことができた。</li> <li>・修了後評価においても研修生、及びその管理者より良い評価を得た。</li> </ul>	継続	今後も地域のがん看護の推進・向上にむけて効果的な研修の企画開催を行う。
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ セミナーの開催</li> <li>1) 放射線セミナー 2019年10月12日(土) 県民会館「パルテホール」 テーマ:食道がんの診断と治療-update-</li> <li>2) 研修・教育部会セミナー 2019年10月26日(土) 県民会館「けんみんホール」</li> <li>3) 検査セミナー 2019年12月21日(土) 兵庫県私学会館</li> <li>4) 薬剤師セミナー 2020年1月18日(土) 兵庫県私学会館</li> </ul>	2020年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師など、チーム医療に関わる医療従事者を対象としたセミナー・研修会を行い、医療レベルの向上を図った。</li> <li>放射線セミナーについては、台風やCOVID-19の影響により開催を延期した。</li> <li>がん化学療法チーム医療研修会 7チーム 65名参加</li> <li>研修・教育部会セミナー 125名参加</li> <li>検査セミナー 117名参加</li> <li>薬剤セミナー 156名参加</li> </ul>	継続	国指定、県指定及び準じる病院の拠点病院、その他医療機関に対して、引き続き積極的な参加を呼びかける。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民フォーラムなどの開催</li> <li>第9回ひょうご県民がんフォーラム 日 時:2019年11月16日(土) テーマ:「動き出した がんゲノム医療」 担当施設:県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター</li> <li>○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会の開催及び後援名義の使用承認 (<a href="http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html">http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html</a>に掲載)</li> </ul>	2020年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民へのがん治療への理解を深めるため、令和元年度は「動き出したがんゲノム医療」をテーマに第1部「がんのゲノム医療」第2部「家族性腫瘍」に分けて講演を開催した。</li> <li>地域で開催されるセミナーや研究会などの共催、及び後援などを行った。共催12件、後援15件</li> </ul>	継続	来年度も引き続いて第10回ひょうご県立がんフォーラムを開催し、県民へのがんに対する知識の啓発を目的に啓蒙活動を続けていく。  各研究会などとの連携を考慮し、引き続き共催、後援を行う。	

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《2020年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	○県内医療機関に勤務するがん看護に携わる看護師を対象に、がん看護実務研修改め、「がん看護コアナース育成セミナー」を企画開催する（期間：7月6日～8月26日、フォローアップ：2月26日）  ○ELNEC-Jは、10月26-27開催	2021年3月					
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第6回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 日程、テーマ：未定 場所：兵庫県立がんセンター 大会 ○セミナーの開催 (1)放射線セミナー 2020年10月31日 県民会館「パルテール」 (2)研修・教育部会セミナー 2020年10月10日 県民会館「パルテール」 (3)検査セミナー  (4)薬剤師セミナー	2021年3月					
		○県民フォーラムなどの開催 第10回ひょうご県民がんフォーラム 日 時：2020年10月24日（土） テーマ：「未定」 担当施設：関西労災病院	2020年11月						
		○協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会の開催及び後援名義の使用承認 ( <a href="http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html">http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html</a> に掲載)	2021年3月						

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項目	内容
<p>2019年度 の活動報告</p>	<p>1 活動報告</p> <p><b>1)がん相談実務者ミーティングを年4回開催する</b></p> <p>第5回会議 2019年6月12日(水) 13:00～16:00 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】就労関連合同会議、兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワーク</p> <p>第6回会議 2019年9月21日(土) 13:00～16:00 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】認定がん専門相談員単位認定研修『がんゲノム医療にがん相談はどのように対応するか』 66名受講</p> <p>第7回会議 2019年12月21日(土) 14:00～16:15 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】ピアサポーター養成研修修了者との交流会</p> <p>第8回会議 2020年3月21日(土) 13:00～16:00 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 (中止) 【内容】各施設の質改善活動の評価</p> <p><b>2)事務局会議の開催</b></p> <p>第1回事務局会議 2019年6月12日(水) 16:00～17:00 場所: 県立がんセンター がん相談支援センター 【内容】今年度の計画確認等</p> <p>第2回事務局会議 2019年9月21日(土) 11:00～12:00 場所: 県立がんセンター 応接室 【内容】がんフォーラムの打ち合わせ等</p> <p>第3回事務局会議 2019年12月3日(火) 14:30～15:30 場所: 神戸大学医学部附属病院 研究棟A 6階 共通カンファレンス室 【内容】本年度の後期の事業確認、次年度の単位研修について等</p> <p>第4回事務局会議 2020年2月12日(水) 14:00～15:00 場所: 神戸大学医学部附属病院 研究棟A 6階 共通カンファレンス室 【内容】2019年度の事業評価と2020年度の事業計画について</p> <p><b>3)地域相談支援フォーラムin近畿の開催および開催準備</b></p> <p>2019年10月6日(日)開催 場所: 神戸市立医療センター中央市民病院 講堂 123名受講</p>
<p>2020年度 の活動計画 及び今後の 検討課題等</p>	<p>1 活動計画</p> <p><b>1)部会(がん相談実務者ミーティング)を年4回開催する</b></p> <p>【日程】 ①2020年6月2日または5日午後、②9月12日、③12月19日午後、④3月13日午後 【内容】 ①就労関連合同会議、②認定がん専門相談員単位認定研修「相談対応の質保証(QA)を学ぶ」(仮) ③ピアサポーターとの交流会、④各施設の質改善活動の評価</p> <p><b>2)事務局会議の開催</b></p> <p>【日程】 未定 【内容】 未定</p>

**2019年度 部門年度目的（目標）の達成状況 及び 2020年度 部門年度目的（目標）の設定**

No.	P (Plan)		D (do)	C (check)	A (act)	
	医療サービスの質に係る目的(目標)	目標を達成するための達成計画			達成状況	2020年度の目的（目標）
1	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	<p>1) 各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う</p> <p>①2019年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする</p> <p>②上記は毎年3月に定期的に行うこととする</p> <p>2) 各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う</p> <p>①目標管理の書式に則り、2019年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる</p> <p>②年4回開催する情報・連携部会会議の際に、毎回15分の目標の進捗管理の時間をとる</p> <p>3) 各病院の相談員の能力の維持向上を図る</p> <p>①情報・連携部会会議を年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う</p> <p>・2019年度第1回会議 2019年6月中旬(平日)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの合同ミーティング</p> <p>・2019年度第2回会議 2019年9月7日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：単位研修『ゲノム医療にがん相談はどう対応するか』</p> <p>・2019年度第3回会議 2019年12月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：ピアサポーターとの交流会</p>	<p>1)</p> <p>①2019年3月の情報・連携部会会議で、各施設でチェックリストの記入を行い、各病院の質の改善計画を目標管理の様式に基づいて立案した。</p> <p>②2019年度の年度末評価は、2020年3月に行う。</p> <p>2)</p> <p>①1)①に同じ。</p> <p>②情報・連携部会会議の議事予定に目標の進捗管理の時間を記載し、毎回15分の進捗管理を行った。</p> <p>3) 情報・連携部会会議を4回開催した。</p> <p>①</p> <p>・2019年度第1回会議 2019年6月12日(水)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの合同ミーティング</p> <p>・2019年度第2回会議 2019年9月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：単位研修『ゲノム医療にがん相談はどう対応するか』</p> <p>・2019年度第3回会議 2019年12月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：ピアサポーターとの交流会</p> <p>・2019年度第4回会議 2020年3月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>( )</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	<p>1) 各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う</p> <p>①2020年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする</p> <p>②上記は毎年3月に定期的に行うこととする</p> <p>2) 各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う</p> <p>①目標管理の書式に則り、2020年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる</p> <p>②年4回開催する情報・連携部会会議の際に、毎回15分の目標の進捗管理の時間をとる</p> <p>3) 各病院の相談員の能力の維持向上を図る</p> <p>①情報・連携部会会議を年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う</p> <p>・2020年度第1回会議 2020年6月上旬(平日)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの合同ミーティング</p> <p>・2020年度第2回会議 2020年9月12日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：単位研修『相談対応の質保証(QA:Quality Assurance)を学ぶ』</p> <p>・2020年度第3回会議 2020年12月19日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p>
2	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	<p>1) 兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークと拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う</p> <p>2) がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワーク、産業医との協働を図る</p> <p>3) 離職を防ぐための患者への啓発資料を作成する。</p>	<p>1) 第1回会議で、兵庫県社会保険労務士会、兵庫産業保健総合支援センター、兵庫労働局、明石公共職業安定所、医療機関(神戸市立西神戸医療センター、神戸大学医学部附属病院)の活動紹介を行い、各地域ごとに交流を行った。</p> <p>2) 1)に同じ。第1回会議で意見交換会を開催した。</p> <p>3) 初診時の離職を防ぐための患者への啓発資料の作成を検討する。兵庫県医師会に、患者への啓発資料を作成・配布していないか確認を行ったが、特に行われていなかった。兵庫県下の相談支援センターで作成・配布している啓発資料の有無を確認した。</p>	<p>□達成できた</p> <p>■一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>( )</p> <p>(達成できなかった理由等)</p> <p>3) 今年度は既存の啓発資料の有無の確認を行った。既存の資料を元にして、兵庫県下で統一した資料作成を次年度行うこととする。</p>	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	<p>1) 兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークと拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う</p> <p>2) がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワーク、産業医との協働を図る</p> <p>3) 離職を防ぐための患者への啓発資料を作成する。</p>
3	がん患者のピアサポートの体制づくり、継続を支援する	<p>1) がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する</p> <p>①兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催する</p> <p>②ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的として、フォローアップ研修会を実施する</p> <p>③国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける</p> <p>④研修を修了したピアサポーターが充実した活動を行えるよう支援する。</p>	<p>1)</p> <p>①兵庫医科大学病院が担当病院となり、6月1日(土)・2日(日)の2日間開催し、17名の参加があった。</p> <p>②12月21日(土)午前、質の向上を目的として、フォローアップ研修会を開催した(内容：ロールプレイ、各ピアサポーターの活動状況共有)。</p> <p>③ピアサポーター養成研修を修了したピアサポーターが院内サロンに参加している病院は11施設(国拠点7施設、県拠点3施設、準拠点1施設)、ピアサポーターと契約を提携している施設は4施設(国拠点2施設、県拠点1施設、準拠点1施設)であった(2019年1月31日時点)。昨年と比較して、ピアサポーター参加施設及び契約施設が増加しており、ピアサポーターとの連携した活動が実施できていた。</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>( )</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>	がん患者のピアサポートの体制づくり、継続を支援する	<p>1) がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する</p> <p>①兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催する</p> <p>②ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的として、フォローアップ研修会を実施する</p> <p>③国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける</p> <p>④研修を修了したピアサポーターが充実した活動を行えるよう支援する。</p>
4	県内のがん相談支援の質の向上を推進する人材を育成する	<p>1) 国立がん研究センター認定のがん専門相談員の認定者を県内で4名育成する</p> <p>①情報・連携部会会議で、認定に必要な研修を年1回以上開催する</p> <p>②各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように部会から働きかけを行う</p> <p>③国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する</p>	<p>1) 今年度新たに認定者が2名となった。</p> <p>①9月21日に、がんゲノム医療に関する相談支援をテーマに単位研修を開催した。</p> <p>②情報・連携部会会議の際に、働きかけを行った。</p> <p>③がん相談支援センター相談員指導者研修(前期・後期)に3名参加した。本年度指導者研修に参加した修了生は、次年度以降の単位研修の企画を担当することとする。兵庫県内の指導者研修修了者は9名となった(平成24年度3名、平成29年度3名、令和元年度3名)。本年度以降は研修会が毎年開催される予定となっているため、次年度以降も受講生を派遣できるよう検討する。</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>( )</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>	県内のがん相談支援の質の向上を推進する人材を育成する	<p>1)</p> <p>①情報・連携部会会議で、認定に必要な研修を年1回以上開催する</p> <p>②各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように部会から働きかけを行う</p> <p>③国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する</p>
5	2019年度地域相談支援フォーラムin近畿を開催する	<p>1) 他府県の情報・連携部会と協働して、実行委員会を組織する。</p> <p>①準備状況の確認と当日の運営について検討する(2019年9月)。</p> <p>2) 兵庫県内の情報・連携部会で運営委員会を組織する。</p> <p>①情報・連携部会事務局会議で、2019年1月に行った実行委員会の内容を確認する。</p> <p>②グループワークの内容を検討する(2019年3月中)。</p> <p>③募集のフォーマットや手順を国立がん研究センターと相談する。</p> <p>④兵庫県内のがん相談実務者に準備状況を報告する。</p> <p>⑤兵庫県内の運営委員を募集する。</p> <p>⑥地域フォーラムの当日の運営を行う。</p>	<p>1)</p> <p>①2019年9月21日に事務局会議を開催し、準備状況の確認を行った。</p> <p>2)</p> <p>①2019年1月24日(木)に開催した近畿6府県のがん相談支援関連部会との実行委員会話し合った内容を、事務局内で共有し、3月の情報・連携部会会議で共有した。</p> <p>②2019年3月8日に、事務局病院で、グループワークの内容とパネルディスカッションの共通項目について検討し、6月に近畿6府県のがん相談支援関連部会に報告し検討した。</p> <p>③2019年7月に、募集のフォーマットや手順について、国立がん研究センターと相談し、8月よりがん情報サービス医療者向けサイトにて参加申し込みを開始した。</p> <p>④兵庫県内のがん相談実務者には、メーリングリストを活用し、アンケート収集や募集開始の案内などを適宜行った。</p> <p>⑤フォーラム申込者の中から、国指定拠点病院の相談員を中心に、フォーラム当日の運営委員への協力を依頼した。</p> <p>⑥地域フォーラムを開催し、123名の参加があった。アンケート結果より、フォーラムが今後活用できる内容だったと答えた参加者は96%であった。</p> <p>・日時：2019年10月6日(日)</p> <p>・フォーラムテーマ：「高齢がん患者の支援を考える」</p> <p>・主催：兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会、共催：近畿5府県のがん相談支援関連部会</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>( )</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>		

※作成上の注意

2019年度部門目的(目標)の達成状況については、「達成状況」欄の「達成された」、「一部達成された」、「達成できなかった」、「その他」のいずれかにチェックをしてください。「その他」に付した場合は、( )内に達成状況を記載してください。

2020年度部門目的(目標)の設定については、従来どおり達成度の判定可能な目的(目標)を設定してください。(達成度の判定可能な目的(目標)であれば、必ずしも数値目標とする必要はありません。)

また、次の点にも留意してください。

- ・部門の努力によって達成可能な目的(目標)であること。
- ・目的(目標)設定の達成計画及び達成度を確認していく方法を検討し、該当欄に記載してください。

提出にあたっては、様式下部の「部門名」を記載し、「承認」、「確認」及び「作成」欄に該当者の印を押印、各押印の日付を記載の上、**原本**を提出してください。

※提出様式の電子ファイルはISO推進担当者まで送付しています。

「責任者承認」印については、責任者決裁の上、一括して承認印を捺す予定です。

作成：2019年3月8日  
 確認：2020年2月12日  
 承認：2020年2月21日  
 責任者承認：2020年2月21日

部門名				
情報・連携部会				

## 兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
2019年度の活動報告	<p>○ <b>がん診療連携協議会 がん登録部会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とき・ところ: 6月28日・兵庫県学校厚生会館</li> <li>・ 議 事: がん登録実務者認定の変更等について 全国がん登録の情報還元に関する申請方法について</li> <li>・ 報告事項: 平成31年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の結果 地域がん登録の状況 院内がん登録実務者ミーティング(研修)の開催 全国がん登録実務者研修会の開催</li> <li>・ 参加者: 40病院 53人</li> </ul> <p>○ <b>院内がん登録実務者ミーティングの開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回・院内がん登録実務者ミーティング(研修) とき・ところ: 9月11日・神戸市立医療センター中央市民病院 テーマ: 2019年からの変更点、多重癌ルールについて 講 師: 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター 江森 佳子 氏 参加者: 49病院 82人</li> <li>・ 第2回・院内がん登録実務者ミーティング とき・ところ: 2月14日・県立がんセンター テーマ: 2017年登録数と治療別集計と院内がん登録の統計活用事例 (公表案は「別表」参照) 院内がん登録に係る調査研究に関する全国がん登録情報の利用方法について 参加者: 38病院 49名</li> </ul> <p>○ <b>都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とき・ところ: 4月24日・国立がん研究センター 新研究棟セミナールーム</li> <li>・ 報告事項: 全国がん登録の動向、院内がん登録全国集計報告書について 等</li> <li>・ 検討事項: 全国集計の今後の方針について、院内がん登録全国データ活用の在り方</li> </ul> <p>* <b>全国がん登録実務者研修会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とき・ところ: 8月30日・神戸大学医学部会館シスメックスホール</li> <li>・ テーマ: 全国がん登録の届出実務(初級編)</li> <li>・ 講 師: 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター 全国がん登録分析室長 柴田亜希子氏</li> <li>・ 参加者: 128病院 175人</li> </ul>
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>○ <b>がん診療連携協議会 がん登録部会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月開催予定</li> </ul> <p>○ <b>院内がん登録実務者ミーティングの開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回開催予定(講義形式(9月)、院内がん登録数集計報告等(2月)を予定)</li> </ul> <p>○ <b>都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月22日開催予定(WEB会議)</li> </ul> <p>* <b>全国がん登録に関する研修会の開催(予定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催時期、内容未定</li> </ul>



《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年3月末 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を収集・分析する体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合を掲載しており、2015年症例より、施設別の院内がん登録数及び胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	2020年3月	○	達成	がん診療連携協議会のホームページに、がん登録部会の院内がん登録実施施設の2017年院内がん登録数と大腸・肺・胃がんの施設別治療法集計データを掲載した。 (この集計は、がん登録実務者ミーティングで検討を重ね、令和2年2月に開催された兵庫県がん診療連携協議会幹事会で公表を承認されたものである。)	継続	来年度もがん登録部会・実務者ミーティングで検討しながら2018年診断症例の情報収集に努め、兵庫県のがん診療や県民に役立つ情報提供を行っていく。
	がん登録実務の精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 また、今後圏域毎にグループワーキング勉強会などができなにか検討していく。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも参加する。)	2020年3月	○	達成	第1回院内がん登録実務者ミーティング(研修)9月11日:神戸市立医療センター中央市民病院にて開催 テーマ:2019年からの変更点、多重癌ツールについて講師:国立がん研究センター/49病院 82名県内外実務者参加  第2回院内がん登録実務者ミーティング(統計・分析)2月14日:県立がんセンターにて開催 テーマ①「2017年院内がん登録数と大腸・肺・胃がんの施設別治療法集計データの公表案」の検討 テーマ②「全国がん登録の情報提供(病院等への予後情報還元申請)」に関する意見交換及びグループワーク/38病院 49名県内実務者参加	継続	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 また、来年度は、各拠点病院等が、県への全国がん登録情報の予後情報還元申請が円滑に行えるような支援が必要である。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《2020年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を収集・分析する体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合を掲載しており、2015年症例より、施設別の院内がん登録数及び胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねいく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	2021年3月					
	がん登録実務の精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも参加する。)	2021年3月					
	全国がん登録情報の予後情報還元申請	各拠点病院等は、県への情報還元申請に慣れていない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、がん登録部会等で情報共有を図る。		2021年3月				

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

## 兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (2019年12月6日)</li> <li>○緩和ケア部会コアメンバー会議 (2019年5月8日) 池垣淳一、木澤義之、岡山幸子、西本哲郎、堀謙輔 (関西労災)、 坂下明大 (神戸大学)、濱中章洋 (淡路医療)、伊藤由美子 (がんセンター)</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○緩和ケア研修会指導者の会 (2020年1月25日)</li> <li>○兵庫県緩和ケアチーム研修会 姫路医療センター担当 (2020年1月25日) (テーマ:「全人的緩和ケアを目指して」～地域と連携・協働する緩和ケア～)</li> <li>○緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (2020年2月29日の開催中止) (テーマ:コミュニケーション)</li> </ul>
2020年度の活動計画及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (未定)</li> <li>○緩和ケア部会コアメンバー会議 (未定)</li> <li>○緩和ケア研修会の開催 令和2年4月にHP掲載予定</li> <li>○緩和ケア研修会指導者の会 (令和3年1月23日)</li> <li>○兵庫県緩和ケアチーム研修会 関西労災病院 担当 (令和3年1月23日)</li> <li>○緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (未定) (テーマ:未定)</li> </ul>

《 2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

2020年3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実 施 内 容	区分	今後の改善内容(計画)
緩和 ケア 部 会	緩和ケアの質の向上	緩和ケア研修会が1日開催となった。緩和ケア研修会の参加者が少ない。医師以外の参加者も少ない	1)各病院で緩和ケア研修会を実施する計24回開催予定 2)年1回緩和ケア研修会指導者の会を開催する 3)緩和ケア研修会の修了者等を対象に緩和ケアフォローアップ研修会を開催する。内容としてはコミュニケーションに関するワークショップを予定している	2020年3月			1)新型コロナウイルス蔓延懸念のため、1研修会は開催できなかった。 2)年1回緩和ケア研修会指導者の会を開催する 3)緩和ケア研修会の修了者等を対象に緩和ケアフォローアップ研修会は新型コロナウイルスため中止		1)新型コロナウイルスため、開催方法を検討する。WEBによる開催も検討 2)指導者の会はWEB開催とする 3)フォローアップ研修会はコロナウイルスが鎮静化するまで延期
	緩和ケアチーム診療機能の向上	緩和ケアチーム研修会への参加できていない施設があり、ピアレビューが行えない。PDCAを公表しているが、すべての施設ではない。	緩和ケアチーム研修会を年1回開催、参加促進する。 年1回緩和ケアチームのピアレビューを実施し、チームの活動を振り返り、他のチームの活動から学ぶ機会をつくる PDCAを公表することの動機付けをより明確にする。作成を促す。	2020年3月			1)各病院の緩和ケアチーム・緩和ケア外来の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う ①PDCAを公表している医療機関は〇〇 国拠点でも 〇〇/〇〇 ②年1回緩和ケアチームのピアレビューを実施し、チームの活動を振り返り、他のチームの活動から学ぶ機会をもうけたが質評価などアウトカムは明確でない 2)各病院の緩和ケアチームで働く専門職の能力の維持向上を図る ①緩和ケアチーム研修会を1月25日に姫路医療センター担当で開催した		新型コロナウイルスの蔓延状況に注視しながら、緩和ケアチーム研修会を開催する。 PDCAは全ての病院でできるよう促す。
	疼痛緩和等の実践	国拠点病院においては緩和ケアマニュアルを2年に1度改定することとなっている。一方マニュアルが十分に整備されていない病院もある。	いつでも、どこでも適切な疼痛をはじめとした体とこころの苦痛の緩和が実践できるような支援をする 各病院で苦痛緩和のための緩和ケアマニュアルを整備する	2020年3月			①各病院で苦痛緩和のための緩和ケアマニュアルを整備状況についてのアンケートを行った。マニュアルのない施設は2施設のみ。		マニュアルを他施設に教えてよいとした施設と知りたい施設についての情報を緩和ケア部会内で共有する
	県内の緩和ケアチームの連携を深める	緩和ケア部会活動の企画立案組織が脆弱である。	緩和ケア部会とコアメンバー会議を開催する ①緩和ケア部会をWeb上で随時開催する ②緩和ケア部会ならびにその活動を円滑に推進するために緩和ケア部会コアメンバー会議を年2回実施する	2020年3月			①緩和ケア部会の会議としてはWeb上で開催しなかった。ML上での承認作業は行なった。 ②緩和ケア部会コアメンバー会議を年1回web上で行なった。		新型コロナウイルスの蔓延もあり、web会議で対応する。ノウハウを蓄積する。新たにコアメンバーを募集する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 2020年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

2020年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアの質の向上	新型コロナウイルスの影響で拠点病院の指定要件である緩和ケア研修会の開催が危ぶまれる	対面による研修会は行わない。 WEBによる集合研修を開発し、WEB開催可能な施設では行う。 指導者の会はWEB会議とする。						
	緩和ケアチーム診療機能の向上	新型コロナウイルスの影響で緩和ケアチーム研修会の開催が危ぶまれる。 緩和ケアチームの評価指標がない。	対面による緩和ケアチーム研修会を可能なら開催。 その場において緩和ケアチームの評価方法について検討する。						
	疼痛緩和等の実践	国拠点病院においては緩和ケアマニュアルを2年に1度改定することとなっている。一方マニュアルが十分に整備されていない病院もある。	他病院の緩和ケアマニュアルについての情報交換を行う。 開示してよい施設、知りたい施設間での情報交換を促す。						
	県内の緩和ケアチームの連携を深める	緩和ケア部会活動の企画立案組織が脆弱である。 対面による会議が困難となっている。	WEB会議を行う。昨年度の経験を踏まえ、今後のWEB開催のノウハウを確立する。						

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

## 兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"><li>○ がんパスの使用状況につき検討した。</li><li>○ 大腸癌ESDパスを実際に運用した。</li><li>○ がん地域連携に関する問題点を抽出した。既存の連携ノートの内容につき検討した。</li></ul>
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。</li><li>○ 新規パス(大腸がんESDパス)とともに既存のパスの運用上の問題点を抽出する。</li><li>○ がん地域連携に関する問題点を引き続き抽出する。</li></ul>

《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年3月末現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	バス利用率の向上	バス利用率は、いまだ高くなく、全てのがん拠点病院での利用が見込まれる。	(1) 平成30年度のバス運用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する。 (3) 各部会ごとに問題点や課題を明らかにし、取組について検討する。	2020年3月	△	未達成	バスの運用状況を調査した。必ずしもバス運用は増加していない 5年目の対応は疾患や施設の状況に依存している。	継続	地域連携バスの利用の利点を再度理解いただく。 バス運用向上の工夫を検討する。
	大腸がんESDバスの実施	新規バスである大腸がんESDバスの実施が始まる。運用上の問題点を明らかにする。	(1) 大腸がんESD地域連携バスの実施状況を確認する。 (2) 問題点を明らかにする。	2020年3月	○	概ね達成	大腸がんESDバスに関しては大きな問題点は上がっていない。	継続	引き続き大腸がんESDバスの実施と問題点の抽出を行う
	がん地域連携の問題点の抽出と検討	がん地域連携につき、問題点が共有されていない。	(1) がん地域連携バス5年目の対応につき、アンケート調査をする。 (2) アンケート結果に基づき、課題を検討する。 (3) 各がん領域で、課題を検討する。	2020年3月	△	未達成	がん地域連携バス5年目の対応は施設や臓器で様々であった。	継続	がん地域連携バス5年目対応に問題点がないか検証する。 がんゲノム医療の情報の均霏化など新規情報の共有方法に

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《2020年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	バス利用率向上	バスの利用率は必ずしも高くなく、すべてのがん拠点病院での利用が見込まれる。	(1) 2019年度のバス利用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する (3) 各部会ごとに問題点や課題を明らかにし、取り組みについて検討する。	2021年3月					
	バスの運用上の問題点の検討	新規バスの大腸がんESDパスや、すでに使用しているバスの運用上の問題点は必ずしも明らかになっていない。	(1) 新規バスの実施状況と問題点の確認する。 (2) 既存バスの問題点を明らかにし、改善につき検討する。	2021年3月					
	がん地域連携の問題点の抽出と検討	がん地域連携の問題点が共有されていない	(1) がん地域連携バス5年目の対応につき各部会で検討する。 (2) がんゲノム医療など新規がん医療に対する情報連携を検討する。	2021年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。